

7月26日、障がい者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」で、施設利用の重度の障がいのある方々が襲われ、19人の方がお亡くなりになりました。亡くなられた方々のご冥福と同時に、けがをされた皆さまの一日も早い回復をお祈りいたします。

理由のいかんを問わず、容疑者の計画

的で凶悪残忍な犯行は、絶対に許すことができません。被害に遭われた方々やご家族の

心中を察するに当たり、深い悲しみと無念さで慰めの言葉

もありません。

海外でも報道されたこの事



田中 寛

件は、障がいのある方やご家族、福祉に関わる者たちのみならず、多くの人たちに不安と同時にたくさんの問題を提起しました。

「障がい者はいなくなれば

障がい者殺傷事件を憂う

社会で守る大切な命

いい」と異常な供述をしている

容疑者は、以前は支援をす

る立場の元同施設職員のため

犯行は運営状況、および利用

者の障がい程度をも熟知して

いました。そのために「職員

を信用しても大丈夫か？」

「安全対策は十分か？」との

利用者家族からの不安は当然出てきています。

また、外部からの侵入を警戒するセキュリティも重要な課題となり、それを大義名

分として地域との交流が途絶

え

る閉鎖的な施設運営が行わ

れた場合、施設内部の虐待な

どが密室的に処理されてしま

う不安も出てきます。

さらに、短時間に大勢の被

害者が出たことで、障がいの

ある方々の外敵への抵抗力の

弱さも露見しました。模倣す

る異常な人間の残酷な行動に

対しても、やはり対応策を講

じる必要があるかもしれませ

ん。

そして、なによりつらいの

は、精神や知的など内部障が

いのある人に対して社会の人

たちが必要以上の恐怖概念を

抱かれることかもしれません。

私には42歳になるダウン症

の娘がいます。生まれた時か

ら現在まで、さまざまな人生

の転換期には家族で苦悩しな

がらも、娘の成長を楽しみに

家族で支え合いながら生活し

ています。そして時には、自己

表現もままならないながらも

障がいに負けずに一生懸命に

生きていく娘の姿に教えを受

け、家族でいられることの幸

せに心から感謝しています。

県民の皆さま、私たち障が

い者家族は、障がいのある人

が一生懸命に生きようとして

いる大切な命の歩みを支え、

見守っています。この事件を

風化させることなく事件の再

発を防ぐため、障がいの有無

にかかわらずに大切な命の尊

さに思いを寄せていただき、

人権を尊重した共生社会づく

りへの支援、ご協力をお願い

いたします。

障がいのあるみなさん、み

なさんの大切な命は社会全体

で守ることを約束いたします。

(沖縄県手をつなぐ育成会

理事長、沖縄市、66歳)

論壇